



インターネットの中で 悪口を書かれたら…

インターネットの中で悪口を書かれたどうすればよいか考えてみましょう。

◆悪口を書かれてしまったら…

①書かれても相手にしない

インターネット上の悪口を聞き流す力のことを「スルースキル」と呼びます。悪口を書かれても、この「スルースキル」を使って、相手にしないことが大切です。



②書かれたことを先生や親に伝える

悪口は消すことができる場合もあります。子どもだけでは対応が難しい削除依頼などの対応は大人に協力してもらい進めてもらうようにしましょう。



【やってはいけないこと！】

悪口を書かれても、相手に反論したり、言い返そうとしたりしてはいけません。インターネットの中で悪口を書く人は相手が反応するのを面白がって見えています。

◆先生や親に相談しづらいときは…

悪口を書かれて嫌だなという気持ちが続いたり、そんな気持ちを身近な大人に相談しづらいときは、電話やチャットで相談できる場所があります。嫌だなという気持ちはため込まないようにしましょう。



・北海道教育委員会 子ども相談支援センター

<https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/ijimedenwasoudan.html>



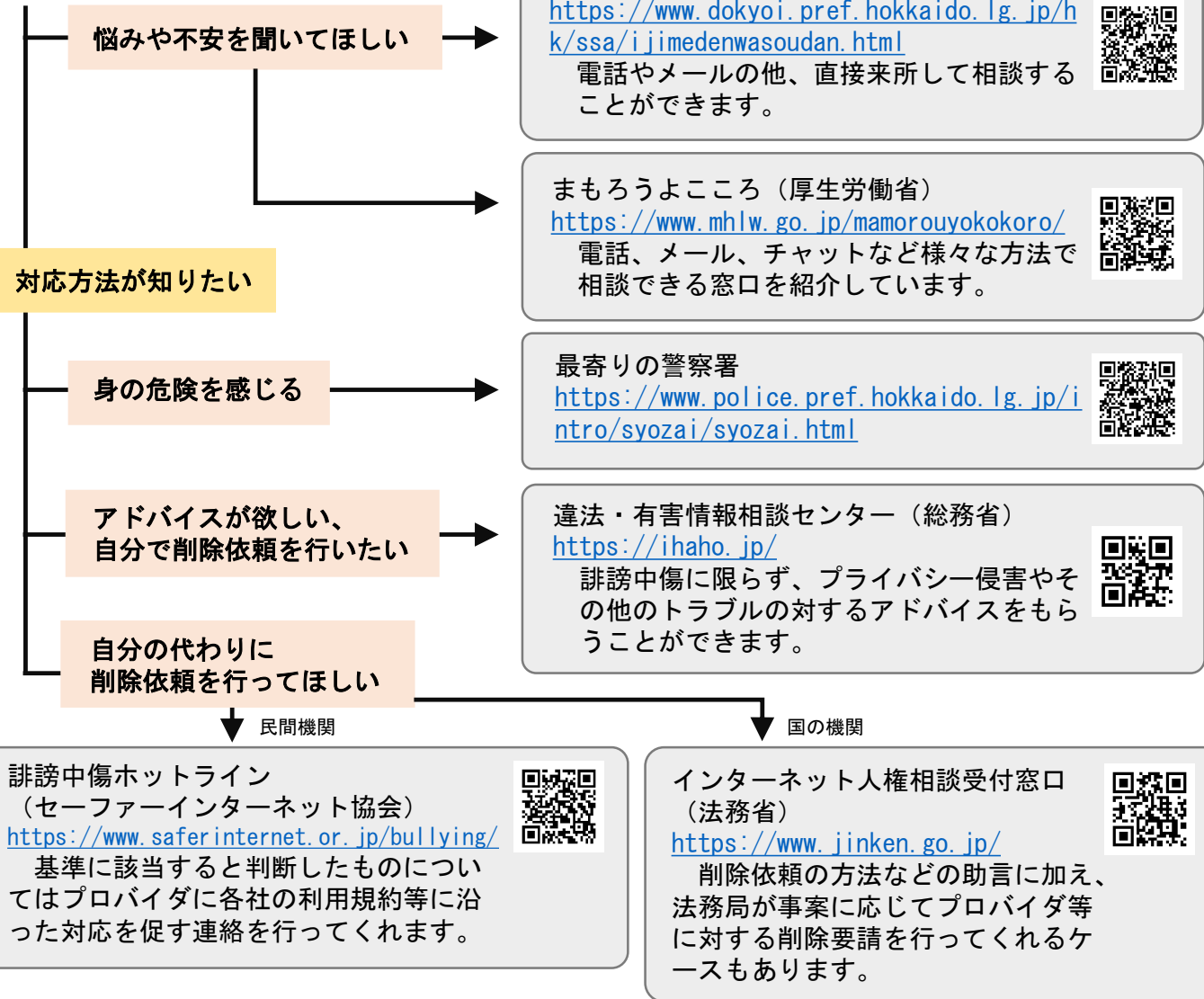
・まもろうよこころ

<https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro/>

インターネット上の 誹謗中傷に関する相談窓口

子どもがインターネット上の誹謗中傷の被害に遭った際、当サイトでも削除依頼の方法などのアドバイスを行っておりますが、その他にも公的な窓口を含め、様々な相談窓口があります。用途に応じて使い分けができるよう、いくつかの窓口をご紹介します。

誹謗中傷の被害に遭った場合



上記の他にも様々な相談窓口がありますので、目的に応じてご活用ください。子どもたちから相談を受けた際、すぐに動けるよう、事前に窓口をブックマークしたり、サイトの利用方法などを確認したりしておくことが大切です。

